

しながわ学

SHINAGAWA GAKU
2026

食と農の未来を考える — 都市と農村をつなぐ視点から —



北原 克宣
立正大学 経済学部 教授

11/11[水] 品川から考える農業・食料問題 [1]
— 都市と農村の対立 —

11/18[水] 品川から考える農業・食料問題 [2]
— 対立から共生へ —

時 間：18:00～19:30

会 場：立正大学 品川キャンパス 1152 教室

定 員：200 名※応募者多数の場合は抽選

受講料：無料

共 催：立正大学／品川区

しながわ学

SHINAGAWA GAKU
2026

「しながわを知る」をコンセプトに、
品川に関する歴史や文化、産業、自然
など様々な魅力について学びます

11/11・18 [水曜開催]

食と農の未来を考える — 都市と農村をつなぐ視点から —

11/11 品川から考える農業・食料問題 [1] — 都市と農村の対立 —

私たちの食を支える農業は、都市化や人口減少、農業従事者の高齢化など多くの課題に直面しています。

本講座では、都市と農村の関係を多角的に捉えながら、その対立構造や背景について考えます。

11/18 品川から考える農業・食料問題 [2] — 対立から共生へ —

農業・食料問題の解決には、都市と農村が互いの役割を理解し、支え合う視点が求められます。

本講座では、対立を乗り越えた先にある共生の可能性や、持続可能な社会に向けた取り組みを考察します。

北原 克宣 立正大学 経済学部 教授

立正大学に赴任して23年目となります。この間、大学で農業経済に関する講義をしてきたにもかかわらず、品川区と農業の関係についてしっかり調べたことはありませんでした。この機会に、品川区にも存在した農業の実態とこれが消えていく過程を振り返りながら、現代の農業・食料問題と未来のあり方について考えてみたいと思います。

最終学歴：1995年北海道大学大学院 農学研究科農業経済学専攻 博士課程 修了 職歴：1995年から2004年まで秋田県立農業短期大学（のち秋田県立大学短期大学部に名称変更）にて講師、助教授、准教授を務めた後、2004年より立正大学に勤務。助教授、准教授を経て2010年より教授。所属学会や学術関係役職等：政治経済学・経済史学会、日本農業経済学会、日本協同組合学会など 日本経済学会連合会評議員

問合せ：品川区役所文化観光戦略課 生涯学習係 TEL：03-5742-6837 FAX：03-5742-6893

募集要項

1回のみの参加でもご応募いただけます

対象：16歳以上の区内在住・在勤・在学の方
定員：200名（応募者多数の場合、抽選となります）

受講料：無料

応募方法：電子申請（Web）・往復はがき

■品川区ホームページから電子申請

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>



■往復はがき

（1人1枚）に、①講座名「しながわ学」、②住所、③氏名（ふりがな）、④年齢、⑤連絡先電話番号、⑥視覚聴覚等の配慮希望の有無を明記し下記申込先へお送りください。

申込先：〒140-8715 品川区広町2-1-36

品川区役所文化観光戦略課 生涯学習係 宛

85 140-8715
往信

品川区役所
文化観光戦略課
生涯学習係 行

こちらには
記入しない
てください

85 郵便番号
返信

住所（返信先）
品川区〇〇〇
[申込氏名]様

①講座名「しながわ学」
②住所
③氏名（ふりがな）
④年齢
⑤電話番号
⑥視覚・聴覚等の配慮
希望の有無

募集期間：10/1[木]～16[金] 必着

※参加にあたり配慮をご希望の方はお知らせください。締切日以降に参加をご希望の場合、電話にてお問い合わせください。お預かりした個人情報は、本講座の運営のみに使用いたします。

会 場

立正大学
品川キャンパス

東京都品川区大崎4-2-16

山 手 線 大崎・五反田駅下車 徒歩5分

東急池上線 大崎広小路駅下車 徒歩1分

都営浅草線 五反田駅下車 徒歩5分

東 急 バ ス 渋41（渋谷駅～大井町駅）
大崎警察署前下車 徒歩1分



4

共 催

立正大学
「モラリスト×エキスパート」を育て

Shinagawa City
品川区